

平成30年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

河内町 解説

組	番	氏名	
---	---	----	--

番号	解 説	答
1	「いきいき茨城ゆめ国体2019」において河内町ではデモンストレーションスポーツとして、ソフトバレーボールを開催する予定です。	2
2	旧給食センターを改修し、世界初のライスジュレ（米ゲル）工場が2016年（平成28年）12月に完成しました。ライスジュレ（米ゲル）は米をゲル状にすることで、小麦粉や添加物の代わりにお菓子やパン、麺類などに加工ができます。	4
3	大野繁教育長のお宅にあった樹齢300年、重さ6トンのケヤキの木を頂き、学園の子供たちが大きく立派に育って欲しいと願って立てられました。	2
4	かわち丸の顔は、町の特産品である米をイメージして作られています。	1
5	1936年（昭和11年）にイギリスで行われた「世界新教育会議」で、旧金江津小学校が紹介されました。	3
6	総務省の統計によると、平成28年度は4,822件、約5,400万円の納税がありました。	4
7	河内町の花に制定されている花は、アジサイです。アジサイは開花期が長く、色鮮やかであり小さな花が集まりひとつの花で、その姿は町民の連携と協調を表していることから、河内町の花としました。	2
8	妙行寺は天台宗の寺で、806年（大同元年）満願上人の開基と伝えられています。江戸時代には上野寛永寺の直末寺（じきまつじ：総本山直属の末寺）として、末寺14か寺を数えました。本尊の阿弥陀如来坐像（あみだによらいざぞう）は河内町唯一の茨城県指定の文化財で、鎌倉時代の作です。	3
9	河内町の地形は、利根川に沿って東西に約20キロメートル、南北に約3キロメートルと細長い形になっています。	2
10	旧金江津中学校は現在民間企業がドローンの研究開発を行っており、2018年（平成30年）3月には操縦技術などを競うドローンコンテストも開催されました。	3
11	長塚節（ながつかたかし）に次ぐ茨城を代表する歌人大野誠夫（おおののぶお）は、1914年（大正3年）、生板村（現在の生板地区）の大地主の四男として生まれました。旧制中学時代から短歌をはじめた誠夫は、戦後、「薄明」42首を発表し、歌壇に彗星（すいせい）のごとく登場し脚光を浴びました。	1
12	長竿亭（ながさおてい）は古民家再生プロジェクトにより平成28年にオープンしました。そば屋さんとしてとてもおいしいと評判で町外からもたくさんのお客さんでにぎわっています。	4
13	筑波嶺は1927年（昭和2年）に初土俵を踏み、1933年（昭和8年）に西前頭2枚目まで番付を上げました。横綱男女ノ川の露払いを務め、昭和13年5月場所を最後に引退しました。	4
14	生板納豆は国産大豆を使用し、原材料と製法にこだわった逸品で、2018年（平成30年）2月にモデルのダレノガレ明美さんがSNSに「オススメの納豆」として投稿し話題となりました。	2
15	小林一茶は田川地区の岩橋一白（いわはしいっぱく）と親交が深かったため、河内町に22回訪問し、56泊したといわれています。	3
16	レインボーシャワーランは水かけラン&音楽&フードフェスティバルとして、河内町を舞台に開催されました。	1
17	古代から明治にいたるまで旧生板・源清田・長竿の3村は常陸国に、旧金江津村は下総国（しもうさのくに）、現在の千葉県に属していました。	4
18	ワイルドスワズは10年以上続く革工房で、丈夫で質の高い製品は日本だけでなく世界からも注目されています。	2
19	体育館の屋根には、災害時や救急医療のヘリコプターの目印になるように「かわち」の文字が書かれています。	3
20	地酒の名称「かわち丸」は、町のイメージキャラクターにちなんだもので、キャラクターと特産品で共に河内町をPRしていくことを目的に名付けられました。	1
21	河内の方言で、小さなトカゲのことを「かまちよろ」といいます。また、「かまちこ」ともいいます。	2
22	旧長竿小学校では、チョウザメの養殖事業が行われており、数年後にはチョウザメの卵であるキャビアの商品化を目指しています。	4
23	新利根川は利根川の水害防止と手賀沼、印旛沼の干拓を目的に1666年（寛文6年）に作られました。	1
24	河内町の鳥に制定されている鳥は、ヒバリです。益鳥として誰にも親しまれ、大空に舞い上がる姿は明日への希望と発展を象徴しています。	3
25	身命をなげうち地域農民を救おうと代官の暴政を訴え捕らえられた片岡万平、石山市左衛門、成毛与五右衛門の三義人を近隣村民が供養するために三義人供養塔を建立しました。生板の三義人供養塔は河内町の指定文化財になっています。	4